



Verona series

live sound

installation

audio visual

broadcast



Midas XL4 and Paul 'PAB' Boothroyd
(FOH Engineer for Sir Paul McCartney)



Midas XL4 and Daniel Green
(FOH Engineer for Coldplay)



Midas XL4 and Robbie McGrath
(FOH Engineer for The Rolling Stones)

Midas - ストーリー

1969年以来Midasは世界のプロオーディオ業界で最高のコンソールブランドとなりました。単にいくつか例を挙げるとMidasコンソールは、ピンク・フロイド、ポール・マッカートニー、ローリングストーンズ、マドンナ、U2、Coldplay、AC/DCなど世界的に有名なアーティストたちのコンサートツアーと友に世界中をロードし続けて来ました。有名なプロシリーズから、誰もが認知しているXL3及びXL4、そして現在業界標準とも言われているHeritage3000、Midasがプロオーディオ・ライブサウンド・エンジニアのほとんどが最初に頭に浮かべ選択する、業界標準のコンソールとなりました。

「Midasサウンド」、プロオーディオの世界では一般的なフレーズとして聞くようになり、Midasコンソールは、他のコンソールを評価するためのサウンド(音、音の速さ)パフォーマンスの基準となりました。

それがただ素晴らしい、他にないダイナミックレンジ、非常に低いノイズフロアの組み合わせから生まれた訳ではなく、比類のない透明感のあるオーディオ回路、温かみのあるすばらしいEQ、非常に素晴らしいマイクロホンアンプなど、オーディオを非常に理解しているだけでなく、音楽を愛しているデザインチームによる30年の経験がそこに注ぎ込まれているからです。

サウンドパフォーマンスは、Midasを成功に導く一部の理由で、際立った製品の信頼性もあります。

Midasコンソールは何千もの過酷なイベントと過酷な移動とも言われているワールドツアーを何十万回も共にしてきました。

30年間の実績による製品のあり方を絶えず進化させ、世界的に充実した私たちのサポートネットワークにより、私たちのどの製品も常にバックアップされています。

Midasの証明されたテクノロジーとロードの実績はおびただしい数のアプリケーションに必要不可欠な道具となりました。無数の劇場、放送局、教会、会議場、設備会社、PAカンパニーは必要条件をMidasに要求します。この信頼(自信)の理由は単純です。Midasの基本的な哲学の基礎です:どの製品にも同じことが言えるのですが、完全に妥協をしない調査研究、デザイン、エンジニアリング、及び製造を徹底して行っていることです。

Verona - ステップアップの道

Veronaは、業界で最も要求されているポジションのコンソールかも知れません。それはMidasのベストセラーのコンソール、非常にコンパクトなVeniceコンソールの発想によりコンソールのレベルをより高めました。Veronaは8-Bussコンソールの市場に大きく影響を与えるMidas独自のパッケージにより、より多くの入力、より多くの機能「特長」を提供します。視覚的に、コンソールが目をはるほど鮮やかです;コンパクトでありながらMidasの大型コンソールに対して、機能、サウンド面でも引きを取りません。

では、Veronaコンソールはいったいどんなコンソールでしょうか?

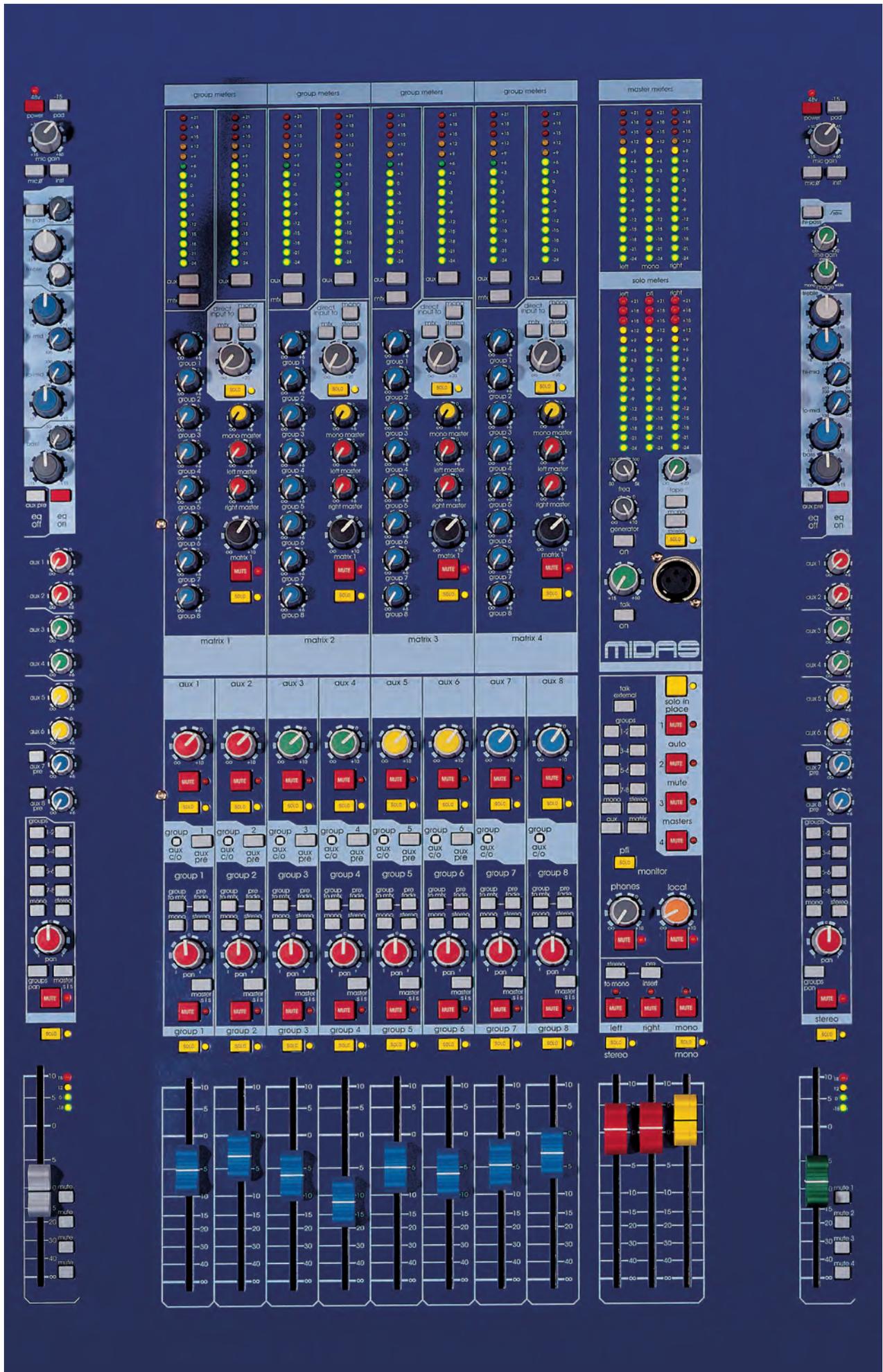
まず、完全にプロオーディオの市場に向けられたコンソールで、Veronaは、機械的にそして電気的にも他の8-Bussコンソールより優れています。それはオーディオクオリティ、耐久性、信頼性、価値帯、どれを取っても他の8-Bussコンソールに引けを取りません。

Veronaシリーズは6つのモデルがあり、24から最大64までの入力、そしてすべての機能、コンポーネントを見ても、サウンドや感覚、どの要素をとってもMidasクオリティであり、Veronaは最初の段階からXL4や業界標準のHeritage 3000を含む、Heritageシリーズコンソールと同じ開発チームによって設計されました。

これまでVeniceを使い続けた誰もがVeronaに興味持つでしょう。多入力、多機能(特集)、そして、非常に重要なことは、Midasクオリティです。インストール又は、ツアーリングパッケージを用意しておりますので、設備、放送局、会議室、教会などの設置、又はコンサートサウンドなどのツアーリングにも最適なパッケージが提供できます。

各入出力の構成

以下の写真により、Veronaコンソールのモジュール構成と種類を分かりやすく表しています。





Verona Console Features

Midas Sound:

全てのコンソールと同様に、私たちは絶えずより良いサウンドを求めて努力を続けています。

Veronaは、シンプルで非常に高いCMRパフォーマンスとノイズが非常に少ない、まったく新しいハイ・パフォーマンス・マイクアンプを使用しています。ハイ・パフォーマンス・オーディオサミングパスを使うことにより、すべての出力で低ノイズを実現し、完全な高電流キャパシタのバランスを実現することが出来ました。

シンプル、直観的、そして印象的:

コンソールの操作は、自由な姿勢(リラックス)で行われ、それは一つの喜びであり、楽しみでもあります。正確な4-Band EQ、100mmフェーダー、シンプルなレイアウト、Veronaは気楽な感覚でサウンドエンジニアが触れられるように設計されました。自信を持って悩まずにミキシングを表現することが出来ます。

全6モデル - Verona 240 to Verona640:

Veronaは、24インプットから最大64インプットまで8インプット単位で選択が可能。

2つの働きを1つのコンソールに:

簡単にFOHとモニターの設定が出来ます: Group/Auxチェンジオーバースイッチ、インサートポイントを含む100mmのフェーダーをGroupからAuxの出力コントロールに自由に組み合わせて切り換えることが出来ます。Auxに対しては、各入力チャンネルのフロントパネルでAux EQをON/OFFが可能 - これを押すことでプリフェーダのAuxにはプリEQ信号に切り替えることが出来ます。

EQ

非常に正確で使いやすいスイープ・4バンドEQをすべてのモノチャンネルに搭載。

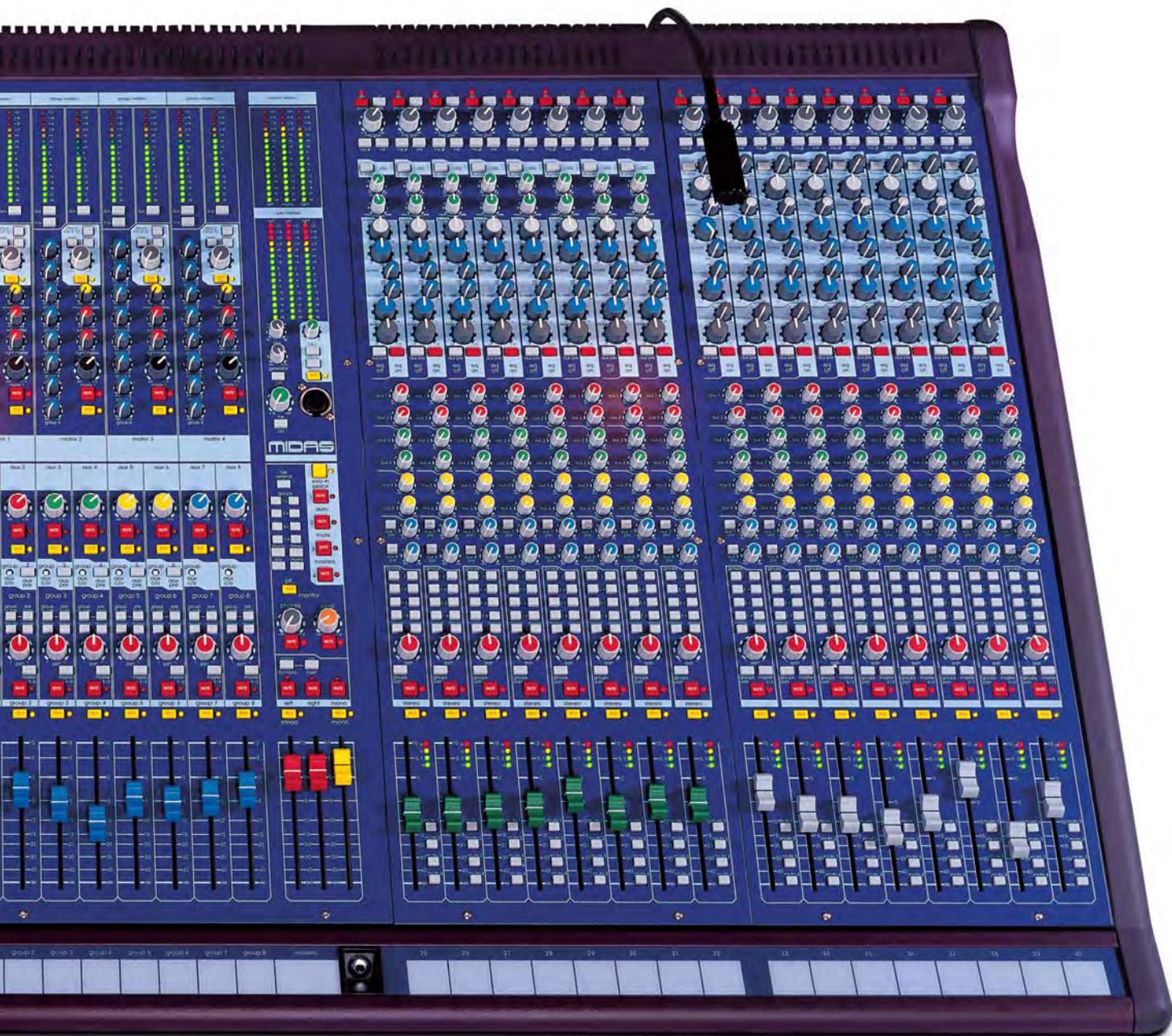
ステレオチャンネルは同様のスイープ・ミッドEQ(2)。全てのチャンネルにハイパスフィルターのスイッチとモノラル入力には、周波数の可変が可能なスイープHPFが搭載されています。

チャンネルインサート

それぞれのマイク入力には、インサートON/OFFスイッチがフロントパネルにあります。

8オーディオ・サブ・グループ

入力チャンネルでの、グループアサインは完全に独立した8個のルーティングボタン(パン・プリ/ポスト切替可能)。



8 Aux出力

2-Auxバスは、個々のチャンネルでプリ/ポスト・フェーダーの切り替えが可能(Aux7/8)、6-Auxは個々のAux全体でプリ/ポスト・フェーダーの切り替えが可能(Aux1-6)

Spatial Image System™ (S.I.S.™)

Spatialイメージシステムは3つの分離したチャンネルを形成するためにL/Rシステムとセンター(クラスター)を利用します。この効果は入力チャンネルとグループで作ることが出来ます。

12×4 マトリックス

グループ(又はC/OスイッチでAuxコントロールになったものも)、LR&C、外部入力をボリューム操作で送ることが出来ます。必要に応じて、外部入力は個々にLR&Cに直接送ることが出来ます。

4 ミュートグループ

簡単に設定ができ、入力のミュート状態を再現できます。ソフトミュート回路とLED表示によりノイズのない、分かりやすいオペレーションを提供します。

マルチファンクションモジュール

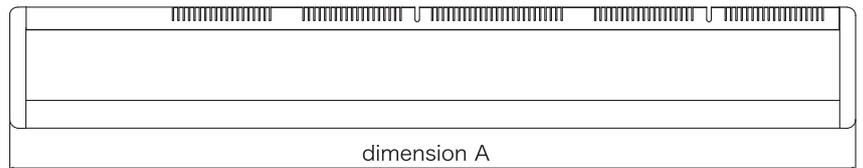
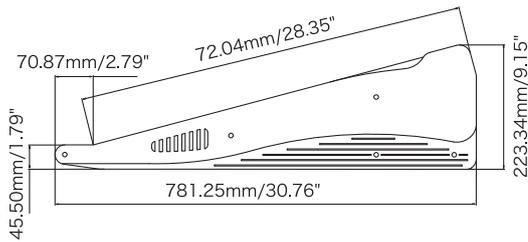
Veronaは標準で8チャンネルを1つのモジュールとしました。これらの入力は、モノ入力、ステレオライン、又は両入力を可能にしています。ステレオラインジャックはバランス、アンバランス共に使用可能で48Vファンタム供給を避けることが出来ます。モノマイクアンプ入力は、フェイズスイッチ、インサートスイッチをフロントパネルで操作することが出来ます。

パワーサプライ

電流分担/電圧感度/切換えなどが自動のAUTO-PSUを内部にマウントし、ハムノイズがなく、外部でのラックやケーブルによる接続を必要としません。Verona240と320は1つのPSUが内蔵され、Verona400/480/560/640は、2つPSUを内蔵しています。すべてのモデルには、外部PSUでも動作できるように外部PSU入力コネクタを標準で搭載しております。

パッケージ

Veronaは、PSU(モデルによって数量は異なります)、フライトケース、リトライト、ダストカバーを含んでいるツアーリングパッケージ(TP)と固定設置や独自(Midasオリジナルでない)のフライトケースを好む場合のために、輸送用ケースであるインストールパッケージ(IP)をご用意しております。



Verona Overview

独特なモジュール構造

8チャンネルブロックのセミモジュラ機構

モジュールブロックは、簡単に取り外すことのできるフロントパネルと2つのPCBを包み込むような構造のシャーシを特集します。

この構造により長いリボンケーブルや高価なバスボードの必要を除いて、実用性を考慮に入れた信頼性やクロストークも改善することが出来ました。この構造により、PCBバスボードに受けるノイズの影響をなくすことができたため、干渉のない内部PSUの使用を可能としました。

PCBは、すべての表面実装コンポーネントは下側に取り付けられており、数年の使用によるゴミなどの影響を受けません。また電解コンデンサなどは従来通りにそれらの信頼性及び寿命を継続させるために熱などの配慮を考え、上側に取り付けられます。メンテナンスサービスのためにPCBへのダイレクトにアクセスを行えるようにフロントパネルは容易に取り外すことができます。全ての主な回線ノードは回路ダメージがシステムレベルかコンポーネントレベルかを簡単に判断できるようにボードの上側にテストポイントのマークが表示されています。

モノ入力モジュール

最新の高性能品質、シンプルでノイズのない、非常に高いCMRパフォーマンスを持ったマイクプリアンプを提供します。

全てのチャンネルにマイクフェイズスイッチ。

全てのチャンネルにハイパスフィルタースイッチ、モノラル入力では、周波数の可変が可能です。

すべてのチャンネルのマイク入力にはインサートスイッチを搭載。

すべてのチャンネルに4-LEDレベルメーター。

すべてのモノ入力は、高精度スイープ・4バンドEQ。

ノイズレスソフトミュート回路とLEDインジケータ。

AUX EQ ON/OFFスイッチ。

100mmモノレール型フェーダー。

モノ入力コネクタ

メインXLR入力は、バランスのマイク又はラインレベル信号を受けることが出来ます。

ライン入力は、48Vファンタム電源を迂回することができ、バランス又はアンバランス信号を受けることが出来ます。

インサート接続は標準的なアンバランス型、センド=Tip、リターン=Ringタイプで、インサートポジションは、PreEQです。

ダイレクトアウト出力は、インピーダンスバランスで、ホット=Tip、コールド=Ringです。信号は、Post EQ/Insert(内部で変更可能)ですが、フェーダーとミュート前の信号です。

マルチファンクションモジュール

それぞれのフレームサイズには、標準で8チャンネルのマルチ入力機能のマルチファンクション入力モジュールを1つ搭載しています。

各々のマルチファンクション入力チャンネルには、4-Band EQ(2つのスイーパーミッド)を持っていて、ステレオライン及び(または)モノラルマイクとして使用することができます。

モノラルマイクのマイクアンプ入力はインサートとフェイズSWがフロントパネルに搭載されています。



Weights and Dimensions

Verona 240	24 mic inputs	dimension A	1085.00mm/42.72"	weight* 45kg
Verona 320	32 mic inputs	dimension A	1327.00mm/52.24"	weight* 55kg
Verona 400	40 mic inputs	dimension A	1569.00mm/61.78"	weight* 65kg
Verona 480	48 mic inputs	dimension A	1811.00mm/71.30"	weight* 75kg
Verona 560	56 mic inputs	dimension A	2053.00mm/80.83"	weight* 85kg
Verona 640	64 mic inputs	dimension A	2295.00mm/90.35"	weight* 95kg

*フライトケースを除いた本体重量です。

マルチファンクション入力コネクター

メインXLR入力は、バランスのマイク(又はライン)レベル信号を受けることができます。

ステレオライン入力は、48Vファンタム電源を迂回することができ、バランス又はアンバランス信号を受けることができます。

マイク入力には、インサート接続ができ、標準的なアンバランス型、センド=Tip、リターン=Ringタイプで、インサートポジションは、PreEQです。

出力モジュール

ハイパフォーマンス・オーディオサミング・バスを採用。

2-AUXバスは、各チャンネルで独立してPre/Postフェーダーの切り換えが可能です。

6-AUXバスは、全体でそれぞれのAUX・Pre/Postフェーダーの切り換えが可能です。

各チャンネルのフロントパネルで、6-AUXに対してプリフェーダーモード時のEQ・Pre/Postの切り換えが可能です。

8つの独立したグループバスのアサインができ、パンコントロールも選択可能。

ステレオとモノマスターバスは、LCR(SIS)パンコントロールの選択が可能。

4ミュートグループは入力の独立したアサインにより、自由に組み合わせることができます。

すべての出力は、低ノイズを実現した高電流キャパシタによる完全なバランス回路を採用。

14の出力は、16セグメントのLEDバーグラフを採用。

フェーダーチェンジオーバーにより、グループとAUX出力の切り換え可能。

12×4出力マトリックス。

Solo in placeはPFLとAFLステレオソロを反映します。

出力セクションコネクター

グループXLR出力は、バランスで50Ωラインレベル信号です。

グループインサートジャックは、標準的なアンバランス型、センド=Tip、リターン=Ringです。

マトリックスXLR出力は、バランスで50Ωラインレベル信号です。

AUX出力XLRは、バランスで50Ωラインレベル信号です。

ダイレクト入力ジャックは、バランス又はアンバランスのラインレベル信号を扱うことができます。

ステレオマスターXLR出力は、バランスで50Ωラインレベル信号です。

ステレオマスターインサートジャックは、標準的なアンバランス型、センド=Tip、リターン=Ringです。

モノマスターXLR出力は、バランスで50Ωラインレベル信号です。

モノマスターインサートジャックは、標準的なアンバランス型、センド=Tip、リターン=Ringです。

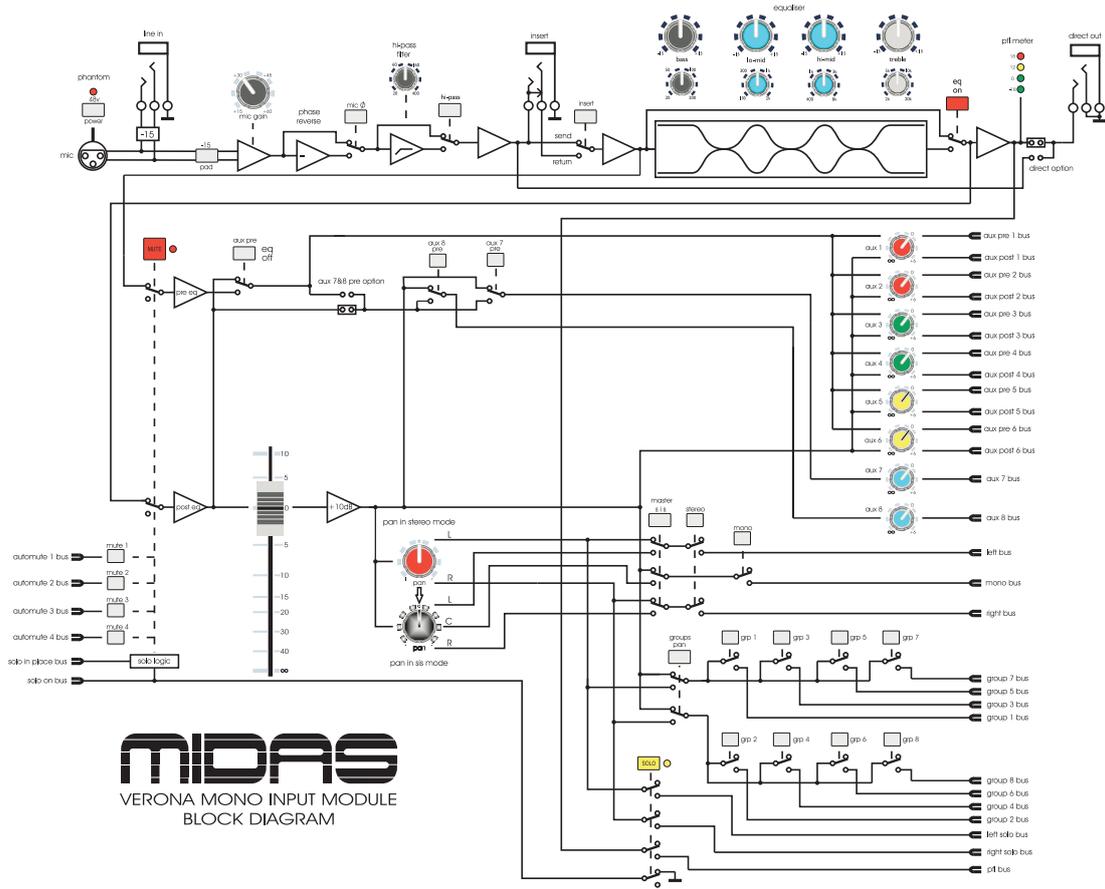
テープフォノ入出力は、アンバランスで一般的なラインレベルより10dB低い信号です。

ローカルXLR出力は、バランスで50Ωラインレベル信号です。

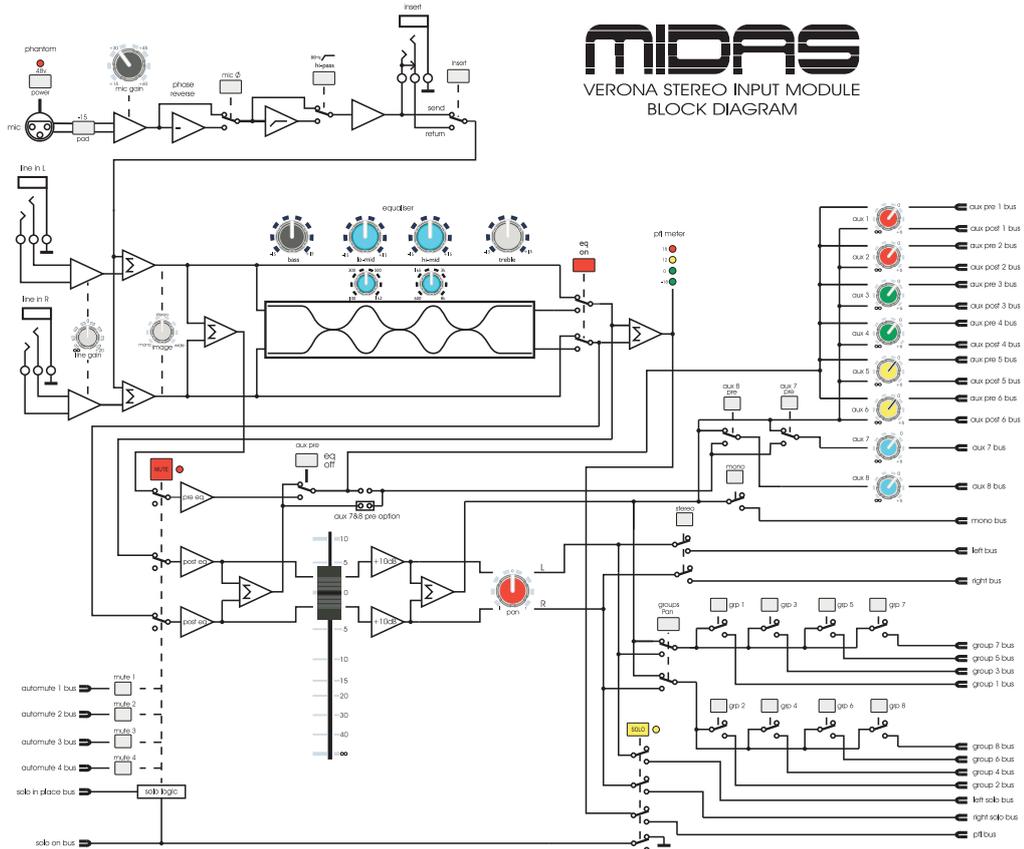
トーク入出力は、XLRでバランスラインレベル信号ののです。

トークXLR入力は、バランスのマイクレベルを扱うことができます。

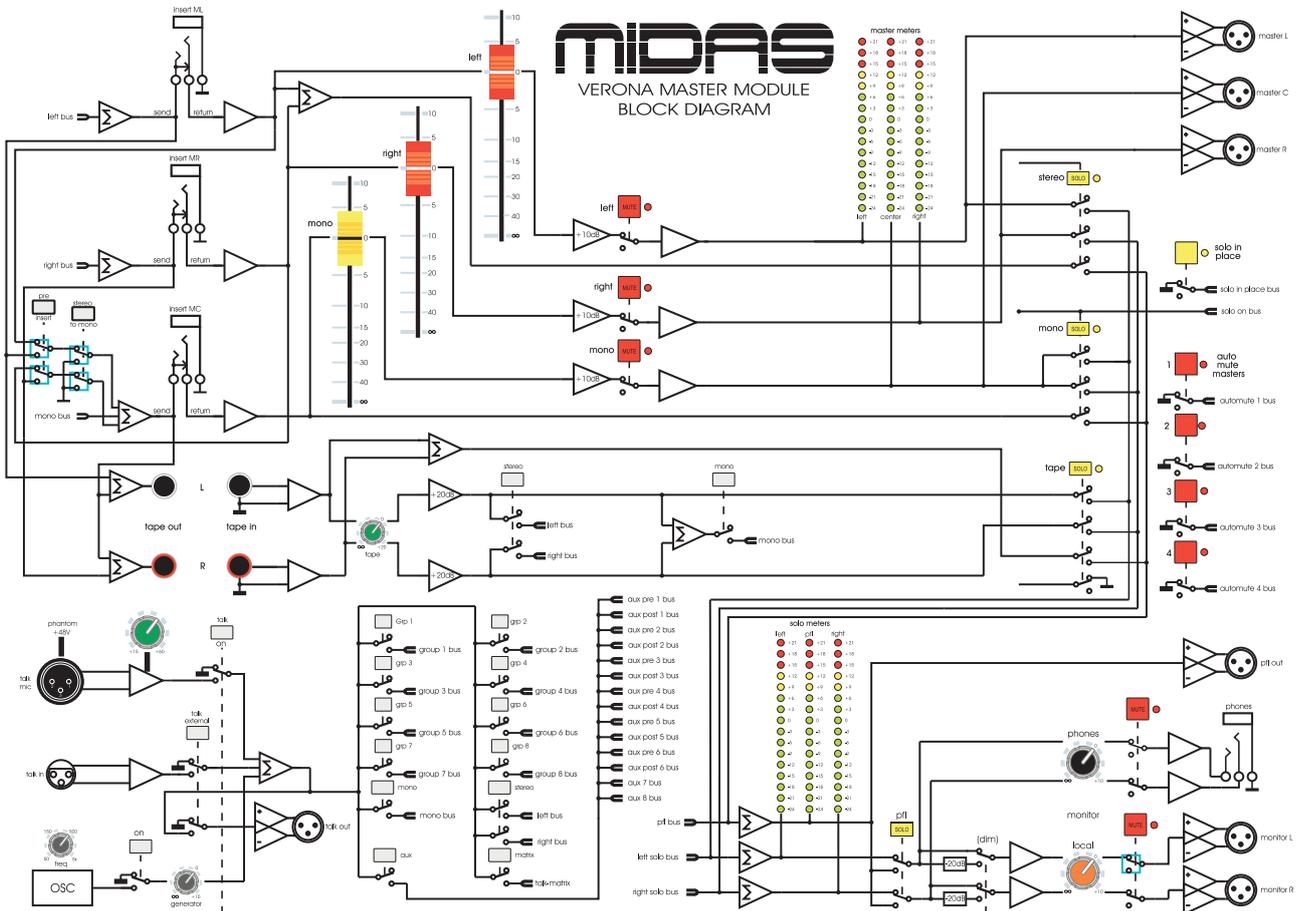
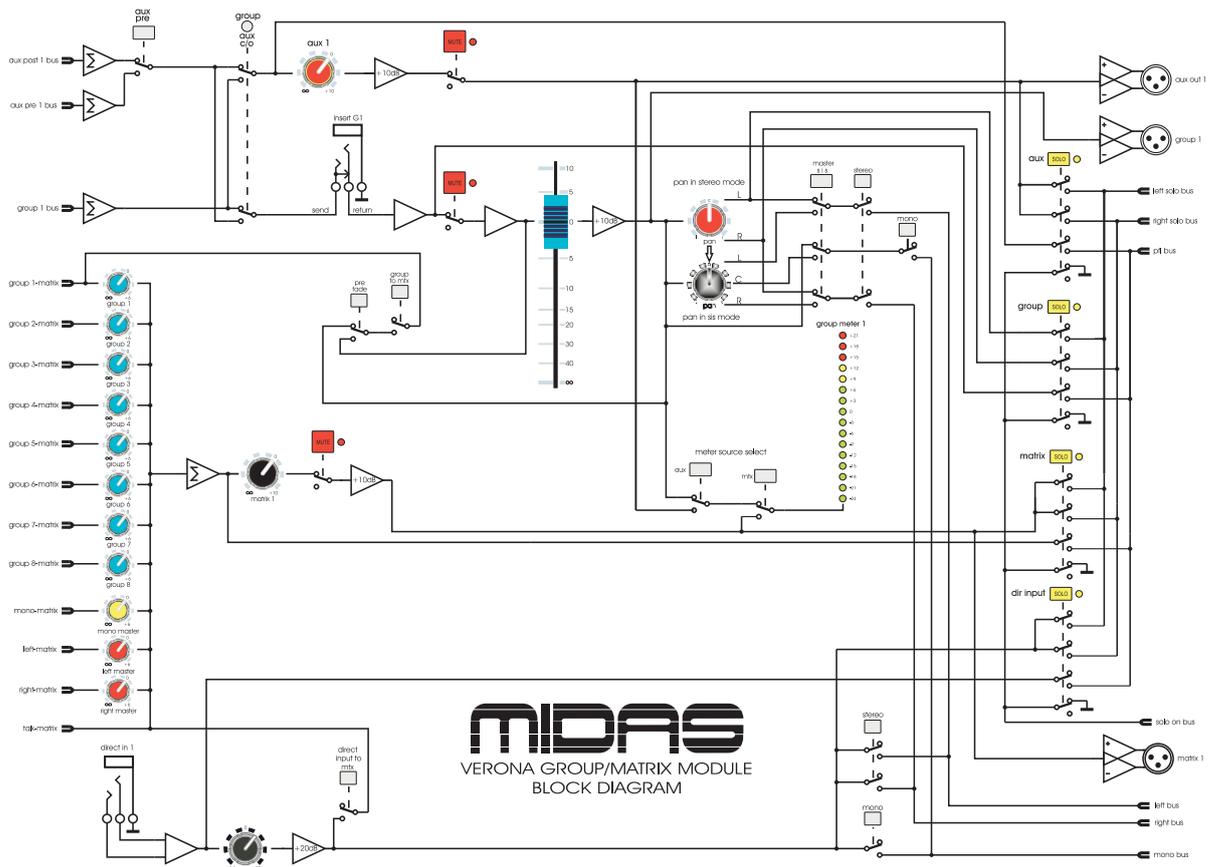
MONO INPUT



MULTI FUNCTION INPUT



GROUP/MATRIX



Verona:外部パワーサプライ V190

Verona専用外部パワーサプライであるV190は、19インチ-ラックマウントタイプ、2Uサイズのトランスタイプのパワーサプライです。Veronaコンソールの240、320、及び640のバックアップPSUとして提供するように設計され、またすべてのVeronaコンソールに追加使用できるPSUとしてオプションで用意しました。

フロントパネルには大きな電源スイッチを採用し、各供給電圧を個々のLEDで正常に供給されているか一目で分かるようになっています。V190はフロントとリアにパラレル出力されている供給コネクタを持っており、どちらからでもコンソールに接続でき、複数のPSUリンクを行うことができます。複数のPSU接続を行うために、追加の切替装置などは必要ありません。



フロント



リア

Verona: Spatial Image System™(S.I.S™)

S.I.S.のメリットは、一般的な考えから作られたコンソールで実証することができます。従来のコンソールでも、3つのチャンネルのミキシングを扱うことができます、しかしそうする方法は複雑で正統ではありません。エンジニアは手馴れない通常ではない方法で操作をし、創造的な柔軟性を制限され、オペレーターによる操作を非実用的になってしまいます。

MidasのS.I.S.パンコントロールの場合は、各々の入力チャンネル上でオペレーターが従来と同じかS.I.S.にするか切り替えることができます。S.I.S.では、パンコントロールのセンターポジションは入力から従来と違う別のチャンネル出力にルーティングします。この場合、パンはセンターから右側又はセンターから左側となります。

バックボカールなどは、わずかな振り分けをすることで、センタークラスターの中でメインボカールを守りながら明瞭度を改善することができます。楽器は従来のミックスに置かれて、そして容易にソロのためのセンターに変えられることができます。

演劇の作品の場合S.I.S.は、俳優の声を振り分ける能力によりステージの動きに合わせて3つのチャンネルを横切らすことができます。ステレオだけの場合は、センター出力は、信号を「L+R to センター」に切り替えることで、モノのサブベースに送り込む方法として使うことができます。

Verona入出力

Veronaは、22バスと12×4出力マトリックスを持っています。バスの種類は以下の通りです。

8グループ	=	8
8AUX	=	8
1 ステレオマスター	=	2
1 モノマスター	=	1
1 ステレオAFL	=	2
1 モノPFL	=	1
合計	=	22

Veronaは4つのミュートグループとソロ・イン・プレイスを持っています。

Verona480の場合、48マイク入力チャンネルと追加で16(8ステレオ)ライン入力とマスターモジュールに4ダイレクト入力を持っています。

Verona480の場合、合計50のXLR入力を持っています。内容は以下の通りです。

- 48 チャンネルマイク入力
- 1 トーク外部入力
- 1 トークライン入力

Verona480の場合、合計27のXLR出力を持っています。内容は以下の通りです。

- 8 オーディオグループ出力
- 8 AUXバス出力
- 4 マトリックス出力
- 3 マスター出力
- 3 ソロ出力
- 1 トーク外部出力

Verona480の場合、合計60の1/4インチバランスジャックを持っています。内容は以下の通りです。

- 56 チャンネルライン入力
- 4 マトリックスダイレクト入力

Verona480の場合、インサートのための合計63の1/4インチ(センド/リターン)ジャックを持っています。内容は以下の通りです。

- 48 入力チャンネルインサート
- 8 オーディオグループインサート
- 4 マトリックスインサート
- 3 マスターインサート

Verona480の場合、合計40の1/4インチ・インピーダンス・マッチング出力ジャックを持っています。内容は以下の通りです。

- 40 入力チャンネル・ダイレクト出力

Verona480の場合、合計4 RCAフォノコネクタを持っています。内容は、以下の通りです。

- 2 テープ入力
- 2 テープ出力

Verona480の場合、59本のロングフェーダーを持っています。

Verona480の場合、すべて16LEDセグメントの14出力メーターと入力チャンネルには4LEDセグメント・メーターの合計62のピークプログラム・メーターを持っています。

Verona Performance Specification

入力インピーダンス	マイク ライン	1.5k バランス 10k バランス
入力ゲイン(all Fader = 0dB)	マイク マイク+パッド モノ・チャンネル ライン入力 ステレオ・チャンネル ライン入力 ダイレクト入力	+15dB ~ +60dBまで連続可変 0dB ~ +45dBまで連続可変 0dB ~ +45dBまで連続可変 (パッドインの時-15dB ~ +30dB) +20dB ~ OFFまで連続可変 +20dB ~ OFFまで連続可変
最大入力レベル	マイク マイク+パッド モノ・チャンネルライン ステレオ・チャンネルライン	+6dBu +21dBu +36dBu +26dBu
CMR(100Hz)	マイク(ゲイン+40dB) マイク+パッド(ゲイン0dB) ライン(ゲイン0dB)	Typ 95dB Typ 80dB Typ 80dB
CMR(1kHz)	マイク(ゲイン+40dB) マイク+パッド(ゲイン0dB) ライン(ゲイン0dB)	Typ 95dB Typ 80dB Typ 80dB
周波数特性(20Hz ~ 20kHz)	マイク - ミックス(ゲイン+40dB)	+0dB ~ -1dB
ノイズ(20Hz ~ 20kHz)	マイク - EIN ref 150Ω(ゲイン+60dB)	-129dBu
システムノイズ(20Hz ~ 20kHz)	サミング・ノイズ(all fader down) ライン - ミックス・ノイズ (48ch fader 0dB, Pan center)	-80dB -75dB
歪み(1kHz)	マイク - チャンネル (ゲイン+40dB, 出力0dBu)	<0.03%
クロストーク(1kHz)	チャンネル - チャンネル ミックス - ミックス チャンネル - ミックス 最大フェーダーアッテネーション 最大ミュートアッテネーション	<-90dB <-90dB <-90dB >100dB >100dB
出力インピーダンス	すべてのライン出力 ヘッドホン	50Ω バランスソースドライブ > 600Ω ドライブ >100Ω
最大出力レベル	すべてのライン出力 ヘッドホン	+21dBu +21dBu
基準信号レベル	マイク ライン ヘッドホン	-60dB ~ 0dBu 0dBu +10dBu
イコライザー	ハイパス・スロープ ハイパス・周波数 トレブル・ゲイン トレブル・周波数 ハイ・ミッド・ゲイン ハイ・ミッド・周波数 ハイ・ミッド・バンドワイズ ロー・ミッド・ゲイン ロー・ミッド・周波数 ロー・ミッド・バンドワイズ ベース・ゲイン ベース・周波数	12dB/Oct 20Hz ~ 400Hzまで連続可変(-3dBポイント) +15dB ~ -15dB(センタークリック=0dB) 2kHz ~ 20kHzまで連続可変(-3dBポイント) +15dB ~ -15dB(センタークリック=0dB) 400Hz ~ 8kHzまで連続可変(-3dBポイント) 1Oct +15dB ~ -15dB(センタークリック=0dB) 100Hz ~ 2kHzまで連続可変(-3dBポイント) 1Oct +15dB ~ -15dB(センタークリック=0dB) 20Hz ~ 200Hzまで連続可変(-3dBポイント)

*仕様は事前の通知がなく変更する場合があります。

Midas — その起源は、今日みるライブサウンド・テクノロジーの黎明期であった1970年代初期に遡ります。以降、ライブ・パフォーマンスに、より高い水準の音を求める、世界中のサウンドエンジニア、アーティスト、PAカンパニーのため、ミキシング・コンソールをデザインし、製造してきました。

30年の歴史において、Midasコンソールは、この極めて水準の高い分野で、世界的なエンターテイメント・テクノロジー産業と共に発展し、独自のオーディオ技術革新により、それを導き、洗練してきました。弛みない研究開発を通じ、音の品質を高めていくこと、それはいつもMidasと共にあり続け、また全く変わることはありません。— それが私達の目指すものだからです。

現在、メジャーなコンサートツアー、フェスティバル、国際的イベント、放送プロジェクト、著名な固定設備など、高水準の音が求められるとき、Midasコンソールが指定されます。今後、私達にとって、プロ・オーディオ業界の急激な変化や、拡大するニーズを予期し、適応するために、コントロール機能やユーザフレンドリなデスクトップ操作など、多くの新しい分野におけるデザインと、ツールの提供が、一層重要となります。

Midasデザインの由来は、その誕生以来、Midasを囲む優秀なサウンドエンジニアと共に考え、試み、達成し、積み重ねてきた実績にあります。ユーザーが、世界的に証明できる独自のテクノロジーをMidasに与えてくれたと私達は考えます。そして、これからもそのスタンスは変わりません。

— MidasがMidasであり続けるために。



Midas Consoles Japan Division ダイヤルイン：03-6661-3801
URL:<http://www.midasconsolesjapan.com> Email: info@midasconsolesjapan.com

本 社 〒130-0011 東京都墨田区石原 4-35-12 TEL 03-6661-3825 FAX 03-6661-3826
大阪営業所 〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3-4-14-602 TEL 06-6359-7163 FAX 06-6359-7164
URL:<http://www.bestecaudio.com> Email: info@bestecaudio.com

 **ベストックオーディオ株式会社**

仕様および外観は、改良のため予告なく変更する事があります